

第37回

有島武郎青少年公募絵画展

有島記念館

Arishima Takeo Memorial Museum

有島記念館の若手芸術家応援の取り組みについて

有島記念館では、美術、音楽など若手芸術家に発表の場を提供するために2012年より展覧会やコンサート事業などさまざまな取り組みを行っています。美術関連では、過去の「有島武郎青少年公募絵画展」入選・出品者をはじめとして、活発な活動を行う作家を企画展「有島記念館若手作家展」シリーズとして紹介してきました。

このほか、35歳以下の作家を対象とした「平成の『生れ出づる悩み』コンテスト」を隔年で開催しています。また、2016年度より当館で紹介した若手作家の作品の購入・収蔵を行い、その活動を後世へ伝える取り組みも行っています。



有島 武郎 Arishima Takeo

1878(明治11)年生まれ。『或る女』、『カインの末裔』などの代表作で知られる小説家。東北帝国大学農科大学教官時代には、美術同好会「黒百合会」の創立に関与するなど、北海道の美術史にも足跡を残す。

1918(大正7)年から発表された有島武郎の小説『生れ出づる悩み』は、のちの画家・木田金次郎が自らの境遇や絵画制作を続けるか否かに悩んでいた時、偶然に有島の住まいを見つけて、訪問した事実がモデルとなっている。木田は、この運命的な出会いをきっかけとして、有島の励ましを受けながら、郷土・岩内の自然と深く対峙して、画業を極めていく。この作品に描かれる、芸術と実生活との間で苦悩しながらも、絵を描こうとする芸術家の姿は、多くの読者の共感を得て、有島の代表作の一つと称されている。

1922(大正11)年、狩太(現・ニセコ町)に所有した自らの農場を無償解放し、翌年に軽井沢で没する。



過去の「有島記念館若手作家展」

- 第1回:「再会-reunion展」(2013年)
- 第2回:「山下隆博写真真展」・「新見亜矢子展」(2015年)
- 第3回:「平成の『生れ出づる悩み』2014展」(2015年)
- 第4回:「駒澤千波展」(2015年)
- 第5回:「石垣渉展」(2016年)
- 第6回:「カトウタツヤ展」(2017年)
- 第7回:「河野健展」(2017年)
- 第8回:「平成の『生れ出づる悩み』2016展」(2017年)
- 第9回:「曾田千夏展」(2019年)

作品を購入・収蔵した若手作家
山下隆博、新見亜矢子、駒澤千波、石垣渉、カトウタツヤ、河野健、曾田千夏
(敬称略)

思い出をひとつみ	井戸端 柚奈	岩内町立岩内第一中学校2年
茜色のひととき	佐藤 涼子	岩内町立岩内第一中学校2年
小さな目から見た世界	ジャクソン 芽依	Rugby School Japan2年
灯影	佐々木 佑音	札幌大谷中学校2年
碧の鼓動	齊藤 さよ	札幌大谷中学校2年
過ぎ去りし時間	太田 将	札幌大谷中学校2年
お母さんへのプレゼント	梁 勝 雅	札幌大谷中学校1年

第37回
有島武郎青少年公募絵画展

『第37回有島武郎青少年公募絵画展』統計

応募作品	203点	入賞・入選作品	95点
高校生	96点	高校生	66点
中学生	107点	中学生	29点

図録『第37回有島武郎青少年公募絵画展』

発行日
2026年10月1日初版発行

編集・発行
ニセコ・有島記念館
〒048-1531 北海道虻田郡ニセコ町字有島57

印刷・製本
株式会社サンコー

この展覧会図録の編集・デザインは伊藤大介(有島記念館主任学芸員)が担当しました。

会期
2025年10月25日(土)－11月9日(日)

会場
有島記念館 特別展示室

主催
ニセコ町、北海道新聞社

主管
ニセコ町教育委員会

後援
北海道、北海道教育委員会

ごあいさつ

このたび有島記念館では、「第37回有島武郎青少年公募絵画展」を開催します。

当館が顕彰する有島武郎は、大正期を代表する白樺派の作家であるとともに、明治期の北海道における美術史にも足跡を残しました。

有島は、1908(明治41)年、東北帝国大学農科大学美術同好会「黒百合会」の創設に関与します。

有島は、同会個展に自作を出品するほか、美術雑誌としての側面を持っていた雑誌『白樺』の同人でもあったことから、後期印象派やロダンの彫刻作品などを紹介しました。

この個展で有島の作品に深い感銘を受けたのは、若き日の木田金次郎です。

その後、有島は木田を励まし、木田は郷土に根ざした画家として歩みを始めるのです。

有島記念館では、有島が持っていたこの美術振興の精神を継承するため、1989(平成元)年より本公募絵画展を開催しております。

今回は203点の応募があり、10月16日、17日の両日に審査会《審査委員長:佐藤友哉(前・札幌芸術の森美術館館長、美術評論家)、審査員:羽山雅愉(画家、全道展会員)、西村明美(画家、道展会員)、佐藤武(画家)、久米淳之(北海道立近代美術館)》を実施。入賞・入選作品計95点が決定しました。

みなさんが切磋琢磨し、北海道はもとより、日本、そして世界をまたにかけて活動するアーティストへと、また美術活動に理解のある大人として成長していただくことが、主催者としての望みです。

最後になりましたが、この公募展の開催にあたり、出品者をはじめ、中学校及び高等学校美術教諭のみなさまなど、多くの方々にご協力を賜りました。ここに厚く御礼申し上げます。

主催者 ニセコ町
北海道新聞社

脱皮	小林 愛依	札幌大谷高等学校1年
上	小松 佳乃彩	札幌大谷高等学校1年
夕焼けの利尻空港	川端 愛聖	札幌大谷高等学校2年
KITAI	相沢 柚衣	札幌大谷高等学校2年
よるのおかたづけ	佐野 ひなた	札幌大谷高等学校2年
光り輝く貴方の笑顔。	松原 春希	札幌大谷高等学校2年
夕影の追想	須摩 悠里	札幌大谷高等学校2年
昼想夜夢	西田 菜桜	札幌大谷高等学校2年
見上げて	加藤 結夕	札幌大谷高等学校2年
風音	北村 芽生	札幌大谷高等学校2年
遠くにいるあなた	小山田 昊蓉	札幌大谷高等学校2年
おもちゃアニマルオーケストラ	藤見 れいな	札幌大谷高等学校2年
沈殿	藤川 怜那	藤女子高等学校1年
カラフル猫	南 出 光	北海道芸術高等学校3年

中 学

origin	加藤 夢愛	石狩市立厚田学園3年
草いきれ	會 田 紬	石狩市立花川南中学校3年
city lurking in the dark 暗闇に潜む街	舘 野 颯健	江別市立江別第二中学校1年
個性	清水 七風凛	江別市立江別第二中学校2年
夢	渡 部 果歩	札幌市立宮の丘中学校2年
What Color do you like?	中川 うみか	千歳市立青葉中学校3年
Hello!world!	中澤 歩希	浜中町立茶内中学校3年
蝶の夢	吉田 千晃	札幌市立明園中学校1年
行き着く先は何処	橋本 かなえ	札幌市立山鼻中学校2年
亜麻色の髪の乙女	西野 友理	札幌市立山鼻中学校3年
百鬼夜行?	松尾 千世	札幌市立山鼻中学校2年
八方美人	井上 はな	札幌市立山鼻中学校3年
海が輝く街	宮村 紗英	札幌市立山鼻中学校3年
重なる人影の余韻に浸って	田中 心春	岩内町立岩内第一中学校3年
薄暮時の公道	藤江 結衣	岩内町立岩内第一中学校3年
機械仕掛けの懐古人形	堀 芽生	岩内町立岩内第一中学校3年
旅友	佐藤 愛理	岩内町立岩内第一中学校3年

入選

高 校

私＝右腕（誰かとしての左腕）	甲 斐 航	市立札幌平岸高等学校3年
光の中で	浅 野 陽 菜	北海道札幌厚別高等学校3年
行路	鈴 木 更 紗	北海道札幌厚別高等学校3年
覚えて	中 野 乃 心	北海道札幌厚別高等学校1年
燈々	川 上 日 閑	北海道札幌厚別高等学校2年
手の塔	沼 里 志 保	北海道札幌厚別高等学校2年
私を包んで	伊 遼 蒼 依	北海道札幌北陵高等学校3年
多様性	高 橋 諒	北海道高等聾学校3年
Turquoise	横 田 七 海	北海道札幌啓成高等学校2年
思い出はいつもキレイだけど	佐 藤 帆 夏	北海道札幌啓成高等学校1年
あなたの痕跡	川 村 菜 月	北海道札幌啓成高等学校1年
夕暮れ	熊 倉 繡	北海道札幌啓成高等学校1年
不誠実	菊 池 椿 紗	北海道札幌啓成高等学校1年
灯り	小野寺 優奈	北海道札幌啓成高等学校2年
不安と焦燥	高 橋 波 瑠	北海道札幌啓成高等学校2年
あなただけを見つめる	嵐 咲 衣	北海道札幌啓成高等学校2年
御月見	出 合 心 優	北海道白樺高等養護学校3年
とある未来都市の空	佐 藤 菜々美	北海道白樺高等養護学校1年
生徒会室	架 田 祥 喜	北海道旭川工業高等学校2年
目	本 間 海 咲	北海道室蘭東翔高等学校1年
内臓大公開	佐 藤 優 衣	北海道室蘭東翔高等学校3年
残骸の神託	外 山 瑞 姫	北海道室蘭東翔高等学校3年
生辰のともしび	菱 沼 夕 楓	北海道岩内高等学校2年
照れ隠し、それとも拒み？	宮 川 絢 音	北海道岩内高等学校1年
Be Yourself	山 田 颯 希	北海道札幌西高等学校2年
届かない声	小野寺 璃乃	北星学園女子高等学校1年
夏果	湊 莉 那	北星学園女子高等学校2年
泡沫	堀 口 心 春	北星学園女子高等学校1年
布	神 山 さえら	北星学園女子高等学校2年
胡蝶之夢	藤 野 花 音	駒沢大学附属苫小牧高等学校3年
memory	馬 場 柚 那	駒沢大学附属苫小牧高等学校2年

目次

ごあいさつ

「第37回有島武郎青少年公募絵画展を審査して」	06
佐藤友哉（さとう・ともよし—前・札幌芸術の森美術館館長）	
入賞作品	07
入賞・入選作品一覧	19

審査委員

審査委員長	
佐藤友哉（前・札幌芸術の森美術館館長）	
審査員	
羽山雅愉（全道展会員）	
西村明美（道展会員）	
佐藤 武（画家）	
久米淳之（北海道立近代美術館上席専門員）	

以上の5名により、2025年10月16日、17日の両日、
有島記念館にて厳正な審査が行われました。

謝辞

本公募絵画展の開催にあたり、多くの方々にご協力を賜りました。
厚く御礼申し上げます。

佐藤友哉
羽山雅愉
西村明美
佐藤 武
久米淳之
北海道
北海道教育委員会

（順不同・敬称略）

「第37回有島武郎青少年公募絵画展を審査して」

佐藤友哉（さとう・ともよし一前・札幌芸術の森美術館館長）

審査は10月16日と17日の二日間で行われました。審査員は昨年と同じ、道立近代美術館の久米淳之さん、画家で無所属の佐藤武さん、版画家で道展会員の西村明美さん、画家で全道展会員の羽山雅倫さん、それに私の5人です。

第37回を迎えた今回の応募作品は、全体で203点。その内入選作が合計で95点となり、そのうちの26点がグランプリの有島武郎賞をはじめとする入賞作品となりました。ただ、今回の応募作品は昨年と比べるとかなり減少し、約80点も下回ったのです。しかし全体的には粒ぞろいで、作品の質は保たれていたと思いますし、技術の高い作品や、意欲的な作品も数多くあって胸をなでおろしました。

また、応募点数に対する入選率は4割7分で、昨年と比較してほんの少し入選の厳しさが緩和されたといえますが、依然としてこれまでと同様、入選のハードルは高かったと思います。

作品を全体的に見ると、油彩や水彩が多いなかで、表現技術の高さが維持されていることが印象的でした。中学生の作品ではやはりこの技術の点で分が悪いという面もありましたが、しかしかなり技術の高いものもあって驚きました。またテーマでは自己を見つめた表現や心象風景をあつかった作品が多く、そのなかには青少年ならではの発想や着想の面白い作品が見られてよかったと思います。

作品の評価に当たっては、二つのポイントに絞りました。作品としての完成度と、テーマの設定とその表現というポイントです。つまり色彩や構図、デッサンなど、造形の要素を画面のなかでしっかりと調和させているか、ということ。また取り上げたモチーフやテーマが見るものに的確に伝わっているか、ということです。もちろん表現の技術は未熟でも、発想や着想に面白さがあって、それを個性的に表現したものも、できるだけ評価しました。とくに審査員特別賞にはその傾向が強く出たように思います。

また注目されたのは近年ペン画やイラストで面白い作品が増えてきたことで、今回もかなりの作品が出品されていたことも印象に残りました。田村柚葉さんのイラスト《天然由来100%》がグランプリを獲得したということは、それを象徴することといえるでしょう。

ともあれ、今回も素晴らしい作品が数多く集まりました。入賞、入選、落選にかかわらず、これからみなさんには、絵を描く、ということを通じて、物事をよく見たり考えたりしながら、手による技と感動する心。これを大いに養ってもらいたいと思います。そして次回もぜひこの公募展にチャレンジしてほしいと思います。

入賞・入選作品一覧

左より作品名、出品者名、出品者学校名、学年の順
敬称略

有島武郎賞

天然由来100% 北海道知事賞	田村 柚葉	札幌大谷高等学校2年
纏う翠と綴る蒼 北海道教育長賞	久保上 凛生	北海道札幌平岡高等学校3年
やすらぎの水辺 二セコ町長賞	吉田 一花	北海道札幌厚別高等学校1年
あそびば 二セコ町教育長賞	稲津 翠	札幌大谷高等学校2年
脆き揺籠 北海道新聞社賞	山本 真亜沙	北海道岩内高等学校2年

玉響 審査員特別賞	佐藤 千織	札幌大谷高等学校1年
いっしょにいようね 星夜を猫は見つめて 衣の寝相 水眠 豪華な朝食	横島 晴菜 白川 玲緒奈 濱崎 結衣 吉住 寿珠 三浦 泰地	北海道おといねっぶ美術工芸高等学校3年 岩内町立岩内第二中学校1年 北海道岩内高等学校2年 北海道教育大学附属釧路義務教育学校後期課程1年 札幌大谷高等学校2年

奨励賞

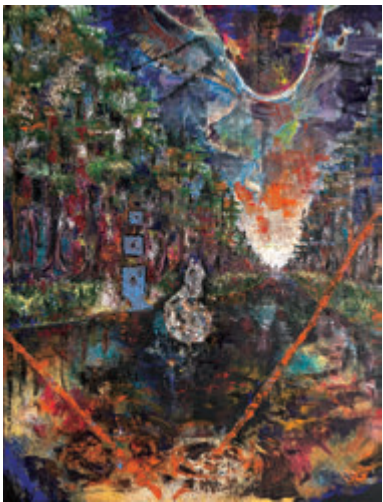
音のかけら 衝突 霧 溢れる夢 森の涼生 激昂 循環 海をつなぐ仕事人 365日H 花雨の池 葛藤 GO 猫猫神社 礼 フルーツティーの秘密	佐々木 陽奈 奥村 陽紀 竹内 煌凜 加藤 夏映良 澤口 優希 北濱 茜音 山木 優奈 平野 友菜 稲場 美羽音 山田 知花 鈴木 真央 荻原 風音 大宮 鈴音 竹内 向日葵 内田 彩菜	北海道北見柏陽高等学校3年 北海道札幌厚別高等学校2年 伊達市立伊達中学校1年 北海道岩内高等学校2年 北海道岩内高等学校2年 北海道岩内高等学校1年 駒沢大学附属苫小牧高等学校3年 岩内町立岩内第一中学校3年 札幌大谷高等学校1年 札幌大谷高等学校1年 札幌大谷高等学校2年 札幌大谷高等学校2年 札幌大谷高等学校2年 札幌大谷高等学校3年 札幌市立羊丘中学校3年
--	---	---



《GO》
荻原 風音
札幌大谷高等学校2年



《猫猫神社》
大宮 鈴音
札幌大谷高等学校2年



《礼》
竹内 向日葵
札幌大谷高等学校3年



《フルーツティーの秘密》
内田 彩葉
札幌市立羊丘中学校3年



《天然由来100%》
田村 柚葉 札幌大谷高等学校2年

寸評（佐藤友哉）
機械仕掛けの猫を精密に描き、青い魚が体内を巡る。
訴求力のあるSF的メッセージがユニーク。

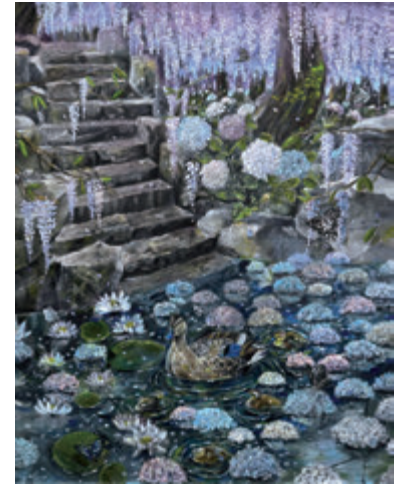


《纏う翠と綴る蒼》
久保上 凛生 北海道札幌平岡高等学校3年

寸評（佐藤友哉）
緑と青に着目して室内の人物を丁寧に描く。
手前の鉢植えと奥の窓による空間表現も巧み。



《365日H》
稲場 美羽音
札幌大谷高等学校1年



《花雨の池》
山田 知花
札幌大谷高等学校1年



《葛藤》
鈴木 真央
札幌大谷高等学校2年



《森の涼生》
澤口 優希
北海道岩内高等学校2年



《激昂》
北濱 茜音
北海道岩内高等学校1年



《循環》
山木 優奈
駒沢大学附属苫小牧高等学校3年



《海をつなぐ仕事人》
平野 友菜
岩内町立岩内第一中学校3年



《やすらぎの水辺》
吉田 一花 北海道札幌厚別高等学校1年

寸評（佐藤友哉）

ワニのリアルな表現は秀逸。

ワニと蝶（ちょう）の組み合わせが新鮮で、楽しく夢幻的な世界が出現。



《あそびば》
稲津 翠 札幌大谷高等学校2年

寸評（佐藤友哉）

難破船の力強いタッチと渦や波の装飾的な表現。

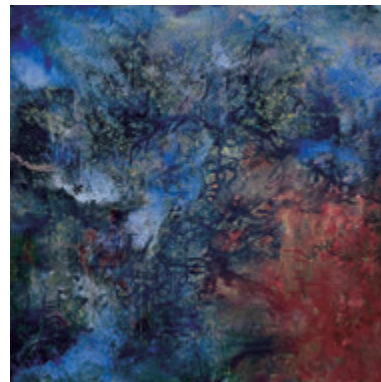
赤い生物も面白く、非凡なイメージが眼（め）を引く。



《音のかげら》
佐々木 陽奈
北海道北見柏陽高等学校3年



《衝突》
奥村 陽紀
北海道札幌厚別高等学校2年



《霧》
竹内 煌凜
伊達市立伊達中学校1年



《溢れる夢》
加藤 夏映良
北海道岩内高等学校2年



《星夜を猫は見つめて》
白川 玲緒奈
岩内町立岩内第二中学校1年



《豪華な朝食》
三浦 泰地
札幌大谷高等学校2年



《脆き揺籠》
山本 真亜沙 北海道岩内高等学校2年

寸評（佐藤友哉）
卵から出てきたのは自分自身か。
リアルな表現ながら幻想的で不思議なユーモアに溢（あふ）れる。



《玉響》
佐藤 千織 札幌大谷高等学校1年

寸評（佐藤友哉）

余白を生かした表現で雪中に桜の枝を持つ少女を描く。

凜（りん）とした清楚（せいそ）な表現はみごと。



《いっしょにいようね》
横島 晴菜
北海道おといねっぷ美術工芸高等学校3年



《水眠》
吉住 寿珠
北海道教育大学附属釧路義務教育学校後期課程1年



《衣の寝相》
濱崎 結衣
北海道岩内高等学校2年